

こじょうライブラリー

第 88 号
2017. 7. 1
名古屋市高年大学
鯖城学園図書室報

道楽は古書店探訪

中学生の頃は学校の図書室に入りびたり、手当たり次第にそこの蔵書を濫読したり、小遣いの大半を近くの貸本屋で借りる探偵小説に費やした。20代の頃からは地元の古書店探訪を始め、読書傾向もほぼ定まってきた。

30代の東京在勤時には、子育てを妻に任せきりにして、暇さえあれば御茶ノ水駅から駿河台下・神保町・九段下駅にかけてほぼ1日を費やし、古書店街探訪を道楽としていた。薄給のサラリーマンには高価な本は買えず、店頭の均一本専科であった。

40代以降、辞令1枚での全国転勤族になってからは、身近に古書店もなかなか見当たらず、古書店探訪は途絶えがちにならざるを得なかった。

60歳の定年退職により、連続10年間に及ぶ単身赴任生活からようやく解放され、名古屋の地に落ち着き、古書店探訪の道楽が再開できたが、ここ10数年間に多くの古書店が店を畳んで、シルバー通りになっていくのが、何としても寂しい。営業中の店に入っても店内は閑散としていて、本を購入する人はおろか、選書している人さえ少なく、これで営業は成り立つのか、他人事ながら心配になるくらいである。

ただ、毎月開催される名古屋古書会館での即売会に行くと、いつも大勢の古書ファンで賑わっているので、潜在的需要はまだまだ廃れてはいないようだ。何とかこれ以上、私の道楽をつぶさぬよう、店の廃業がないことを願うばかりだ。

今春から10年ぶりに鯖城学園再入学を認められ、学園図書室の利用を再開できたことは、私にとって近年にない慶事である。これからもせいぜい読書三昧で過ごそうと思う。

(32期地域 A 水谷 肇)

※ 本や図書館にまつわる投稿を700字程度でお待ちしております。

詳しくは事務室の図書係までお問い合わせください。

○ よく読まれている本 ・騎士団長殺し…村上春樹 ・恋のゴンドラ…東野圭吾 ・コンビニ人間…村田紗耶香 ・幻庵…百田尚樹 ・十二人の死にたい子どもたち…冲方丁 ・白い衝動…呉勝浩 ・九十歳、何がめでたい…佐藤愛子 ・天才…石原慎太郎 ・陸王…池井戸潤 ・危険なビーナス…東野圭吾 ・わかれ…瀬戸内寂聴 ・沈黙法廷…佐々木譲 ・よるのばけもの…住野よる ・蜜蜂と遠雷…恩田陸 ・奇跡の爪音…谷口和己 ・秋霜…葉室麟 ・山猫珈琲…湊かなえ ・闇の平蔵…逢坂剛 ・老乱…久坂部羊 ・大阪のおばちゃんの逆襲…源祥子 ・また、桜の下で…須賀しのぶ ・不時着する流星たち…小川洋子 ・土の記…高村薰 ・銀の猫…朝井まかて ・終わった人…内館牧子 ・コンテクスト・オブ・ザ・デッド…羽田圭介 ・失踪者…下村敦史 ・料理通異聞…松井今朝子

※ 4月～6月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	540	408
2年	356	330
OB	778	805
合計	1,674人	1,543冊

新刊図書（4月～6月）

著者名	著書名	出版社名
原田 マハ	サロメ	文芸春秋
金原 ひとみ	クラウドガール	朝日新聞出版
西 加奈子	i (アイ)	ポプラ社
田家 みゆき	one Story Restaurant	文芸社
横尾 宣政	野村証券第2事業法人部	講談社
住野 よる	『か「」く「」し「」ご「」と「」』	新潮社
クリスティー・ウィルコック	毒々生物の奇妙な進化	文芸春秋
ケント・ギルバート	儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇	講談社
志賀 貢	臨終の七不思議	三五館
葉室 麟	墨龍賦	PHP研究所
弘兼 憲史	弘兼流 60歳からの手ぶら人生	海竜社
辻村 深月	かがみの孤城	ポプラ社
内田 康雄	孤道	毎日新聞出版
又吉 直樹	劇場	新潮社
トーン・テレヘン	ハリネズミの願い	新潮社
白石 あづさ	世界のへんな肉	新潮社

鶴城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書(4月～6月)

著者名	著書名	出版社名
井上 荒野	赤へ	祥伝社
平野 啓一郎	マチネの終わり	毎日新聞
逢坂 剛	闇の平蔵	文芸春秋
袖月 裕子	あしたの君へ	文芸春秋
藤堂 志津子	独女日記3	幻冬舎
渕 かなえ	山猫珈琲(上・下)	双葉社
森 絵都	みかづき	集英社
村山 早紀	桜風堂ものがたり	PHP研究所
吳座 勇一	応仁の乱	中公新書
林 真理子	我らがパラダイス	毎日新聞出版
兼高かおる・曾野綾子	私たちの旅のかたち	秀和システム
和田 章義ほか	天気と海の関係について わかっていることといないこと	ペレ出版
黒川 博行	累税	幻冬舎
松本 侑子	みすゞと正輔	新潮社
東野圭吾	すてきな日本人	光文社
桐野 夏生	夜の谷を行く	文芸春秋
梓澤 要	万葉恋づくし	新潮社
秋吉 理香子	サイレンス	文芸春秋
瀬戸 賢一	時間の言語学	ちくま新書
中山 七里	サイレーンの懺悔	小学館
川口 俊和	このうそがばれないうちに	サンマーク出版
池井戸 潤	アキラとあきら	徳間文庫
綿矢 りさ	私をくいとめて	朝日新聞出版
川上未映子・村上春樹	みみずくは黄昏に飛びたつ	新潮社
柚木 麻子	BUTTER	文芸春秋
二宮 善宏	怪傑ハリマオを追いかけて	河出書房新社
半藤 一利	文士の遺言	講談社
宮下 奈都	静かな雨	文芸春秋